

日程	谷戸田の米作り 2019年度作業日程(予定)	参考:前年度写真と解説
お願い	天候、稲の生育状況により変更することがあります。温暖化による異常気象が田んぼにも現れています。必ず水曜日の案内メールでご確認ください。基本的には小雨決行です。(合羽用意)	
注意	① 持ち物には必ず名前を記入。履き物の忘れ物が増えています。② トラブル回避のため貴重品は身につけてください。	

日程	時間	内容	注: 苗は岩手の在来種ヒトメボレ・神奈川キヌヒカリ 自家栽培です
5/12 5/5(日)	開耕式 9:00~12:00	大量幟と元気な鯉幟の開耕式 	ロカキは稲苗が元気に育つよう、トロトロの田んぼを作る作業。泥汚れ覚悟。 
5/12(日)	田植え 9:00~13:00 (谷戸田オーナー様) 13:00~15:00 (他団体様)		田んぼの土壤に活着するよう、多すぎず、深すぎず、浅すぎず植えます。昔から田植えの終了を「野上り」と言い、小豆飯を炊いて祝い、ほら貝の合図で作業を休み若い衆は遠くの真田神社まで出かけたそうです
5/19(日)	田植え (NPO法人小鳩会様)	横浜市に開設しているNPO法人小鳩会は無認可保育園と学童保育を活動の中心に置き、別メニューで自然塾を展開している注目のNPOです。 	
6/2(日)	田の草とり・草刈り 9:00~12:00	田の草取り: 稲間の雑草を取ります。植物の生育を阻害する除草剤を使わず、完全無農薬栽培を進めています。 草刈り: 土手、あぜ道の草を刈り、田んぼに日当たを確保します。又、獣害用電柵は周辺の草が触れると効果が無くなり、ニホンジカが策を飛び越え稲苗を食べてしまいます。  	  ① 人力草取り ② 田ぐるま ③ 共立除草機
6/9(日) 6/16(日) 6/23(日) 予定です	虫送り準備 竹取り 大・中松明 竹灯籠 飾り竹灯籠 行列のシナリオ作り オーナーさん以外のボランティアも募集	 大松明  竹灯籠	かつて日向地区でも行われていた虫送りの復活は4年目を迎え、山伏グループとの連携でゆっくり浸透し始めています。里山地域の再生と発展を願い、谷戸田オーナーのような地域外の都市住民からの後方支援も必要です。
7/7(日) 7/14(日) 本番	虫送り		日向神社のお祓い、日向薬師の「山川草木悉皆成仏」が現代の生物多様性を意味し、無益な殺生を慎むお話に大人も子供も胸を打たれます。大小の松明・竹灯籠が田を色取り、火の力を集めて虫を追い払うさまが人々を幽玄の世界に導き、都市化が進む程置き忘れてくる何かを問いかけてくれます
8/4(日)	田の草とり 9:00~12:00		稲は真夏に成長し田んぼは緑一色です。ヒエも成長し収穫量に影響します。最後の草取りです。休憩と水分・塩分補給で熱中症対策が必要です。3番草が終わると体重が2キロ落ちてしまい、ドジョウ・ウナギで体力の回復を図ったと言われています。
9/22(日) 10/6(日)	稲刈り 掛け干し 9:00~12:00	 	毎年の異常気象と台風で変更が多くなる頃です。刈り取った稲は2週間かけてかけ干しにします。自然乾燥の工程中にお米が完熟し食味がおいしいと言われます。
10/20(日)	脱穀 9:00~12:00	総勢40数名のパワーで作業開始、台風25号のお陰で真夏日以上の暑さ。脱穀機2台で品種ごとヒトメボレとキヌヒカリに分けました。これからライスセンターに持ち込みモミ擦りを依頼します。  	
11/3(日)	収穫祭 9:00~13:00	  	台風24号の襲来で谷戸田の屋根が大破。気を取り直して収穫祭にこぎつけました。オーナーさんのご支援に感謝いたします